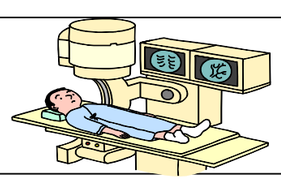
経皮的血管形成術（４日コース）を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID：　　患者氏名：　　様

経過	入院日（経皮的血管形成術前日）	経皮的血管形成術当日（治療前）	経皮的血管形成術当日（治療後）	３日目（治療後１病日）	４日目（退院日）
日付	月　　日（　　）	月　　日（　　）		月　　日（　　）	月　　日（　　）
目標	治療の内容が理解でき、検査を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	・医師より治療の説明を行います。 ・看護師が入院生活および治療の説明を行います。 （説明後、承諾書を記入し、提出して下さい） （医師・看護師の説明でわからないこと、 心配なことがあれば何でもお話し下さい） ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。	・治療中ご家族の方は 東6B階病棟でお待ちください。 	・医師から治療結果について説明があります。 ・カテーテルを挿入した足は6時間は 曲げないでください。 6時間たてば寝返りや座ることができます。 ・患者さんが落ち着かれましたら、 ご家族の方は帰宅可能となります。		・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。（治療直後に行うこともあります） ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置	・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を 観察し印をつけます。 ・手首の動脈（正中・橈骨）の拍動を 観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位（橈骨または大腿）を 必要時除毛します。	足から治療する場合：・治療前に点滴を開始します。 ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。	・点滴を継続します。 	・カテーテルを入れた部位の 消毒を行います。 ・治療翌日に採血と四肢血圧脈波 検査を行います。 ・症状がなければ留置針を抜去します。	・カテーテルを入れた 部位の消毒を行います。
		手首・肘から治療する場合：・治療前に肘や手首に麻酔のテープを貼ります。 ・治療前に点滴を開始します。 ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。	・点滴を継続します。 ・手首からカテーテルを挿入した場合は バンドで固定します。 ・肘からカテーテルを挿入した場合は 副え板をして包帯固定します。		
検査	・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います ・心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を 行うこともあります。 				
生活 行動	・生活に制限はありません。 	・ベッドで1階の カテーテル検査室へ向かいます。	・治療後はベッド上で安静にして下さい。 ・治療後は、6時間たてばトイレまで 歩くことができます。		
清潔	・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます 			・傷の状態に異常が なければ入浴できます。 	・傷の状態に異常が なければ入浴できます。
食事	・治療食となります。（カロリー・塩分制限） ・水分に制限はありません。	・午前治療は朝食が出ません。 ・午後治療は昼食が出ません。 	・治療後、吐き気がなければ 飲水・食事をすることができます。 		
内服薬	・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。				・退院時内服処方が 必要に応じ出ることがあります。
観察			・カテーテルを入れた所の出血の 有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・ 橈骨動脈の拍動の観察を行います。		
その他	・治療の状況により、両側の足の付け根の 動脈 からの治療になる可能性もあります。		・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、 水分（お茶・水）を多めにとりましょう。		
備考					

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
循環器内科